

# 群馬県内の道路老朽化の 現状報告

平成29年2月10日

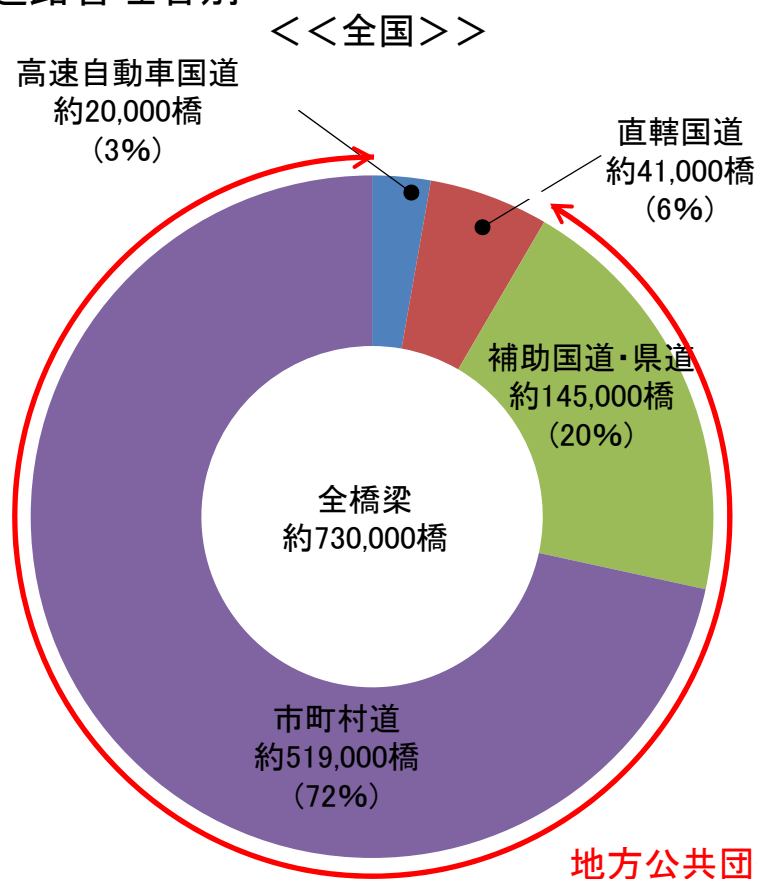
高崎河川国道事務所

道路構造保全官 今 春彦

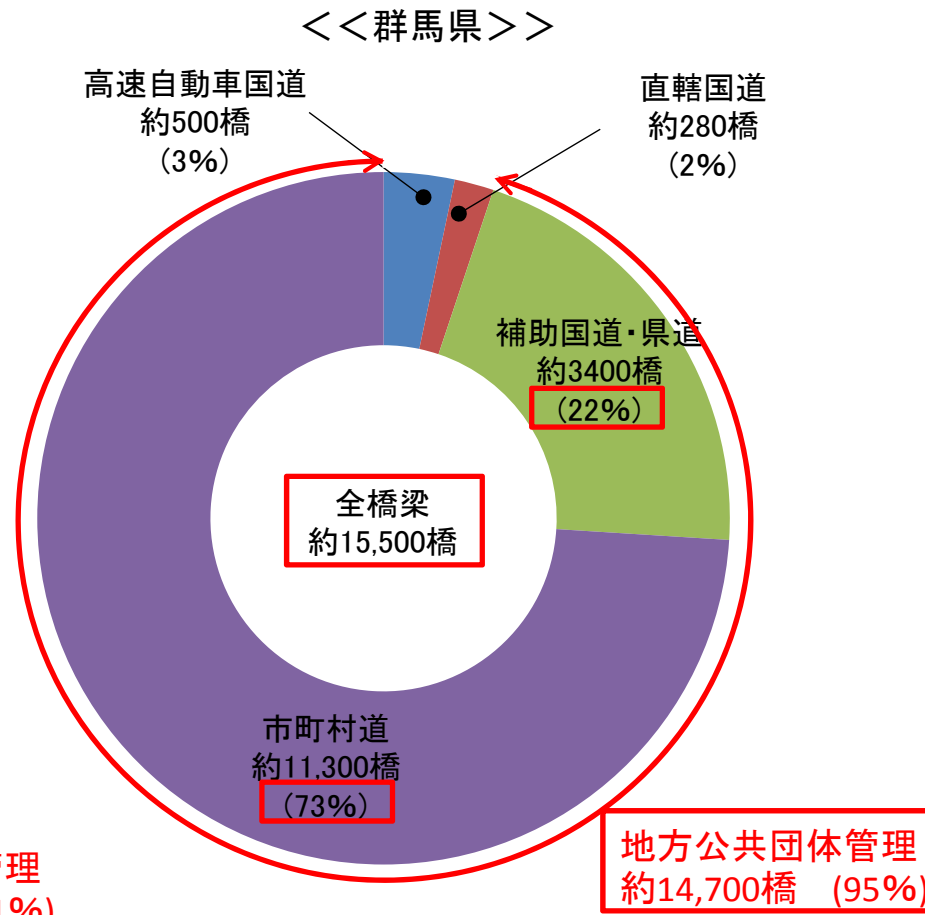
# 道路管理者別橋梁数

○群馬県内の橋梁は、約15,500橋あり、このうち、地方公共団体が管理する橋梁は約14,700橋あり、全体の9割以上占めている。

## ○道路管理者別



出典) 道路局調べ(H27.12時点)



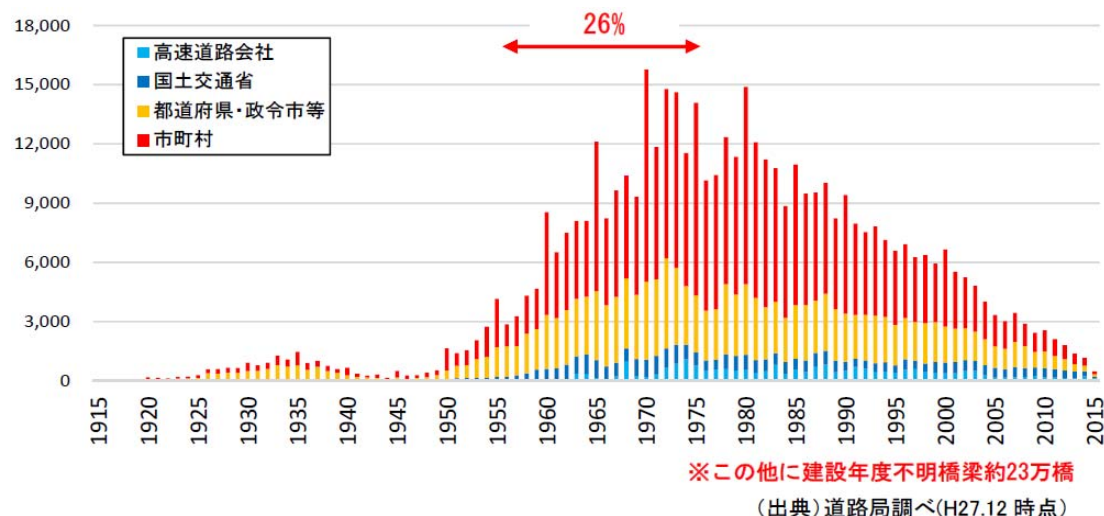
出典) 高崎河川国道事務所調べ(H28.10時点)

# 建設年度別橋梁数(1)

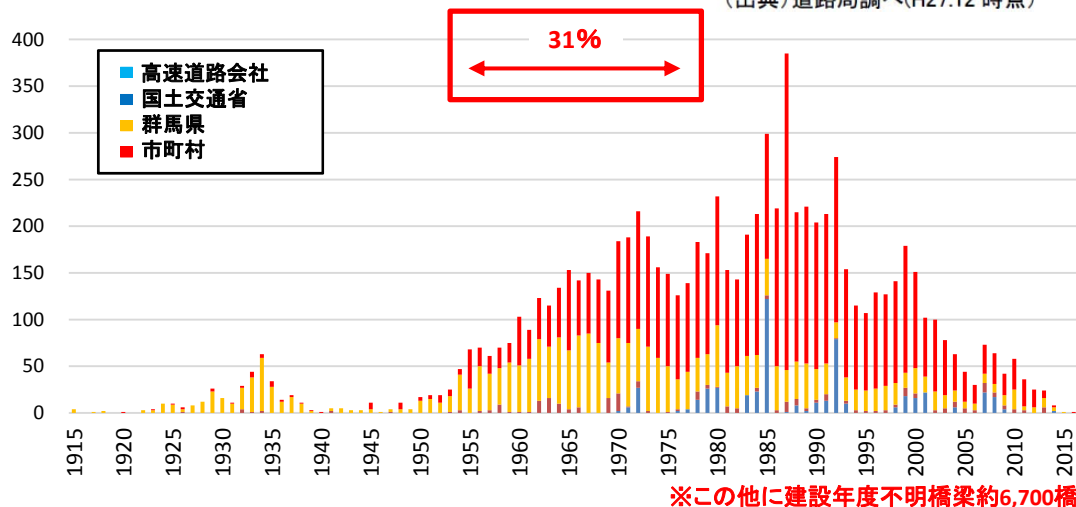
○群馬県内の建設年度別の橋梁は昭和30年から50年にかけて建設されたものが約31%と多くなっている。

## ○建設年度別橋梁数

<<全国>>



<<群馬県>>

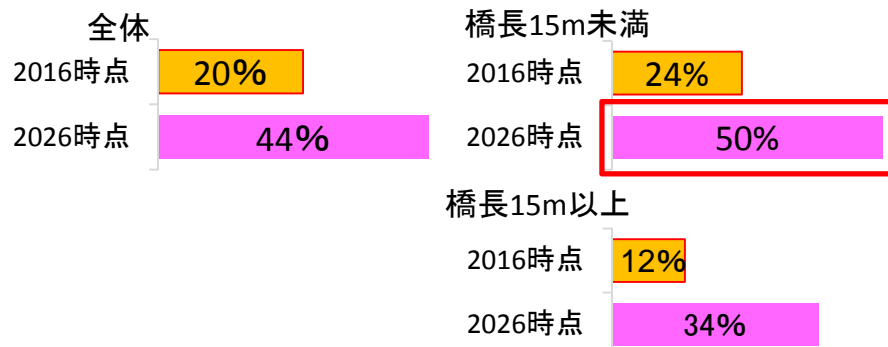


## 建設年度別橋梁数(2)

- 群馬県内の建設後50年を経過した橋梁の割合は現在、約20%。10年後は38%と急増する。橋梁15m未満の橋梁は10年後には42%となる。
- 建設年度が不明な橋梁が群馬県で約6700橋あり、これらのお大半が市町村管理の15m未満の橋梁。

### <<全国>>

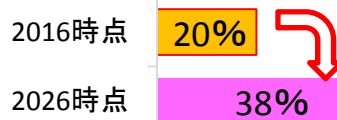
○建設後50年を経過した橋梁の割合



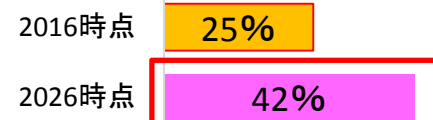
※この他に建設年度不明橋梁約23万橋

### <<群馬県>>

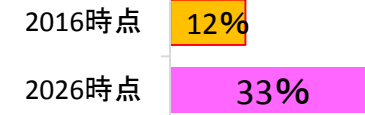
全体



橋長15m未満



橋長15m以上

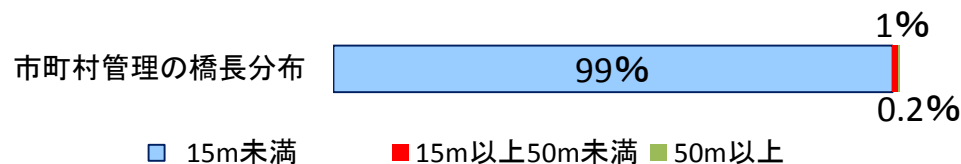
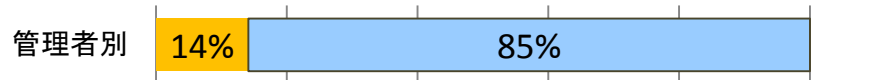


※この他に建設年度不明橋梁約6,700橋

○建設年度不明橋梁の内訳

不明橋梁 230,000橋

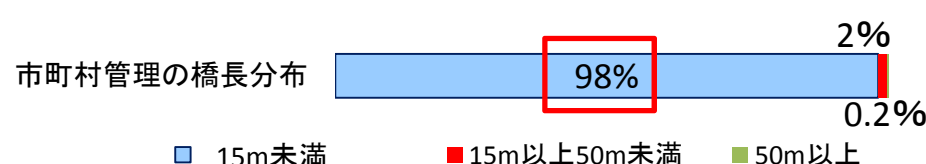
■ 高速道路会社 ■ 国土交通省 ■ 都道府県政令市等 ■ 市町村



出典) 道路局調べ(H27.12時点)

不明橋梁 6,700橋

■ 高速道路会社 ■ 国土交通省 ■ 群馬県 ■ 市町村



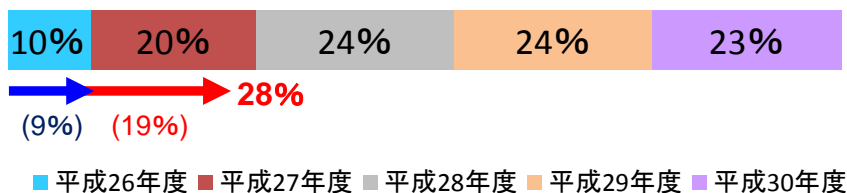
出典) 高崎河川国道事務所調べ(H28.10時点)

# 平成26・27年度橋梁点検結果(1)

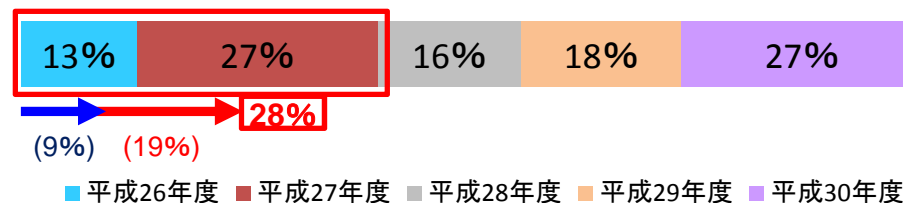
- 平成26・27年度の累積点検実施率は、群馬県全体で点検計画40%に対し、約28%。
- 群馬県の市町村の平成26・27年度の累積点検実施率は24%。

## ○5年間の点検計画・累積点検実施率

### <<全国>>

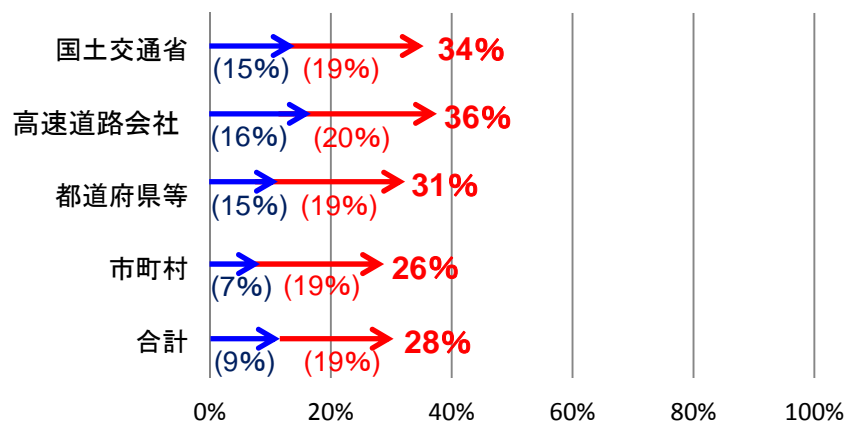


### <<群馬県>>

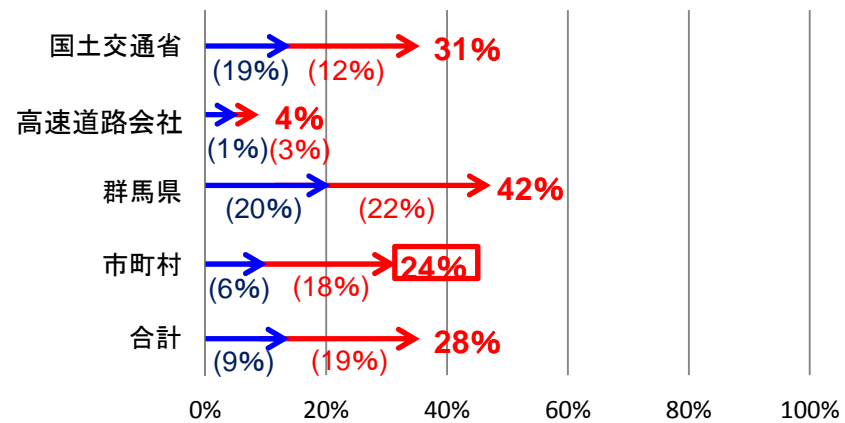


## ○平成26・27年度道路管理者別累積点検実施率

### <<全国>>



### <<群馬県>>

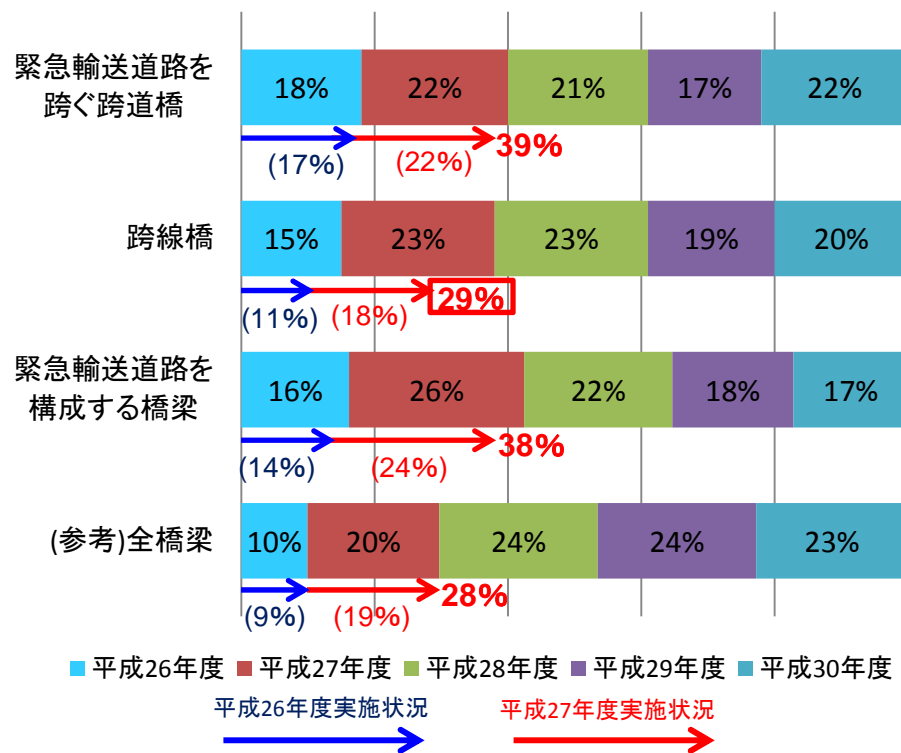


# 平成26・27年度橋梁点検結果(2)

○第三者被害の観点から最優先で点検を推進することとしている、群馬県の橋梁のうち跨線橋は52%を完了。

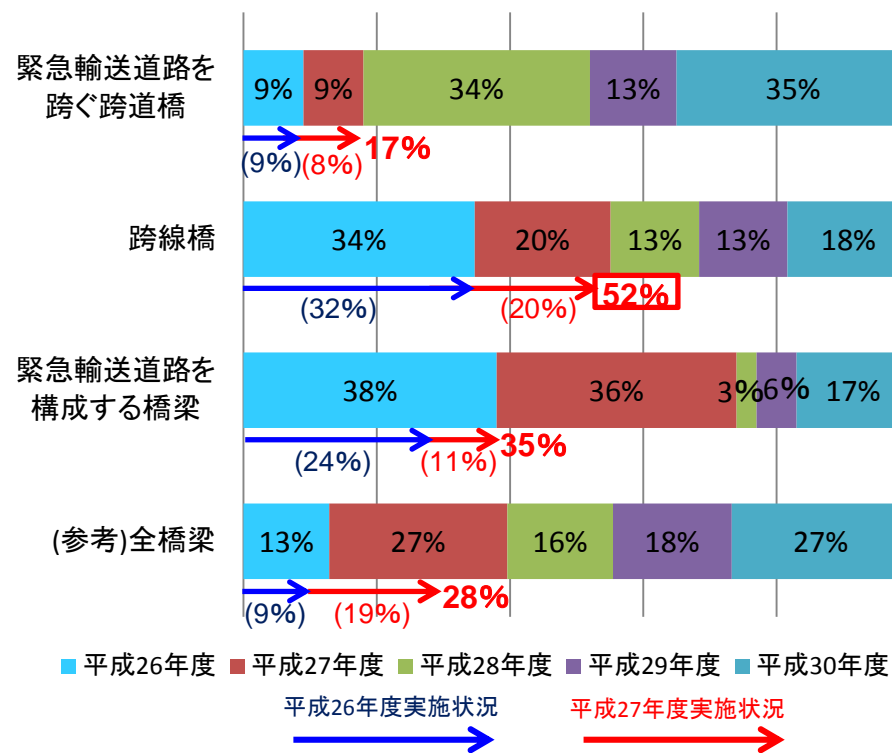
○最優先で点検すべき橋梁のH26・27累計点検実施率

<<全国>>



出典)道路局調べ(H27.12時点)

<<群馬県>>



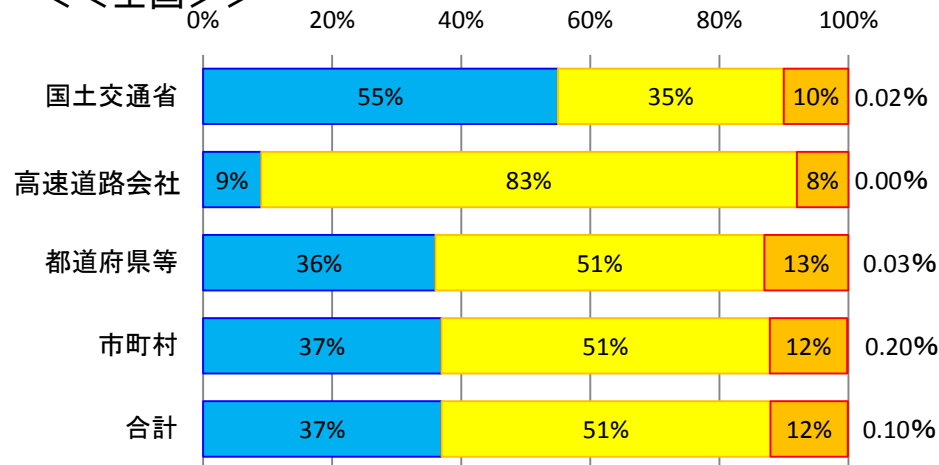
出典)高崎河川国道事務所調べ(H28.10時点)

# 平成26・27年度橋梁点検結果(3)

○群馬県内は現在まで緊急措置段階である判定区分Ⅳは0%。早期な修繕が必要な判定区分Ⅲは9%。

○平成26・27年度道路管理者別判定区分の割合

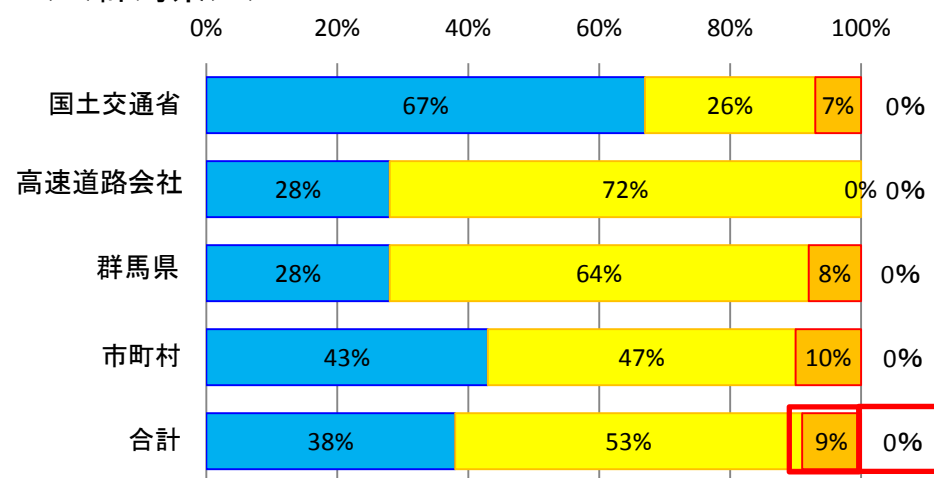
<<全国>>



■ I ■ II ■ III ■ IV

出典)道路局調べ(H27.12時点)

<<群馬県>>

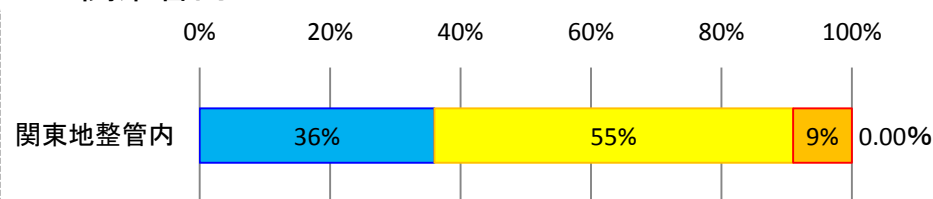


■ I ■ II ■ III ■ IV

出典)高崎河川国道事務所調べ(H28.10時点)

- I 構造物の機能に支障が生じていない状態
- II 構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
- III 構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
- IV 構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

<<関東管内>>



■ I ■ II ■ III ■ IV

出典)関東地方整備局調べ(H28.10時点)

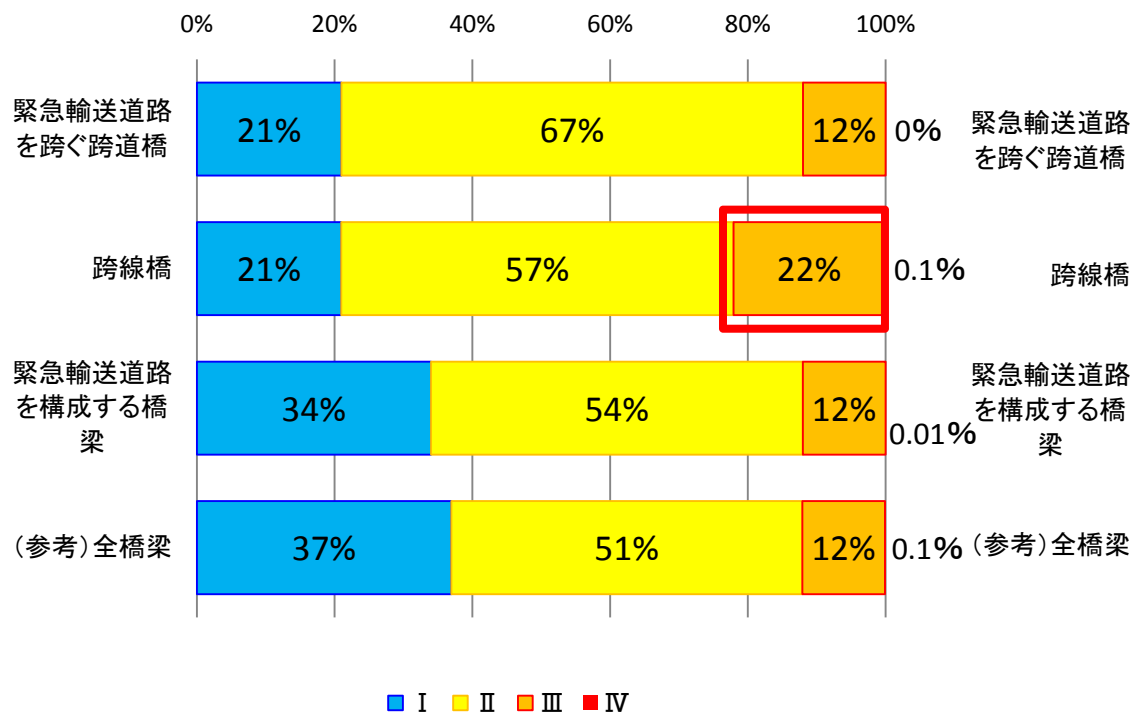
## 平成26・27年度橋梁点検結果(4)

○第三者被害の予防等の観点から、最優先で点検を推進することとしている群馬県の橋梁のうち、跨線橋は約19%が早期に修繕が必要。また、緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋も16%と高い。

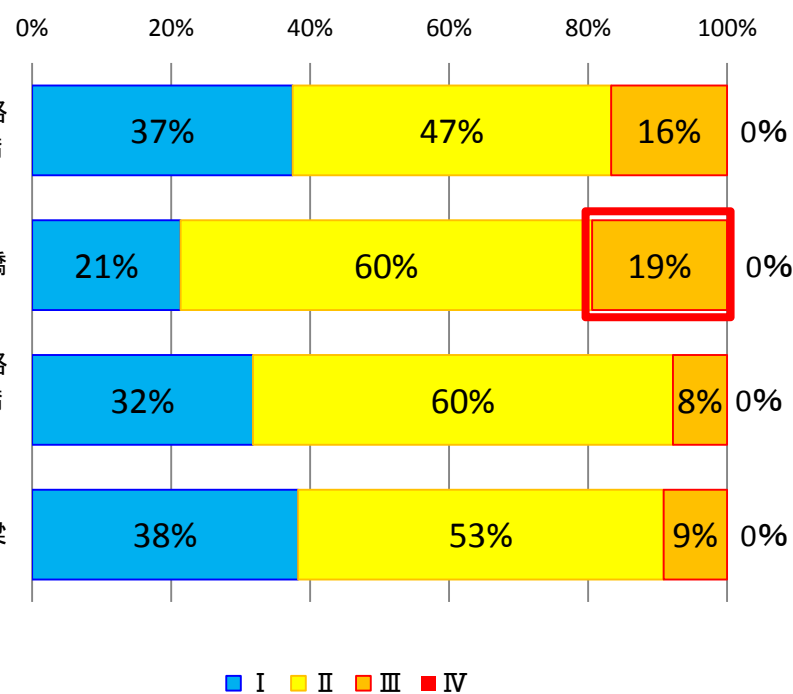
○最優先で点検すべき橋梁の平成26・27年度の判定区分の割合

<<全国>>

<<群馬県>>



出典) 道路局調べ(H27.12時点)



出典) 高崎河川国道事務所調べ(H28.10時点)

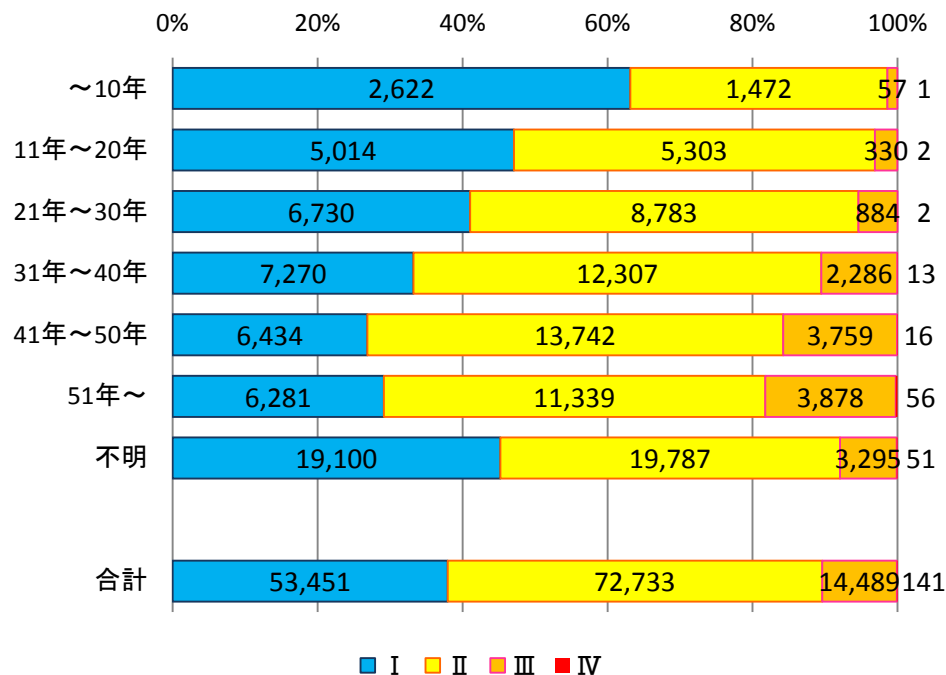


# 平成27年度橋梁点検結果(判定区分と建設経過年度)

○判定区分Ⅲ(早期に措置を講ずべき状態)については、建設経過年度が長くなるほど高くなる傾向。群馬県内では建設後40年を過ぎると10%超となっている。

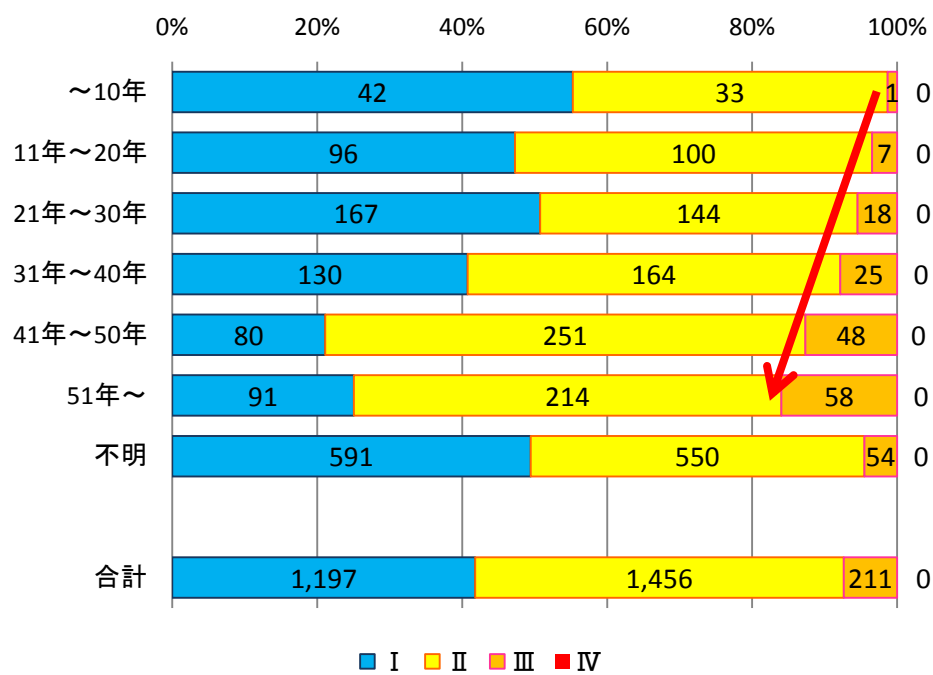
## ○判定区分と建設経過年度

### <<全国>>



出典) 道路局調べ(H27.12時点)

### <<群馬県>>



出典) 高崎河川国道事務所調べ(H28.10時点)